

南九州市地域おこし協力隊 活動報告書

2018.2月

受入先	NPO 法人 頴娃おこそ会
役職	コーディネーター
隊員氏名	くらもと けいすけ 蔵元 恵佑
着任日	平成29年2月1日

～ 主な動き ～

1. 「おこそコラボ」の2回目の開催
2. 空き家再生フォーラム開催
3. 自宅のトイレを大改造

1. 「おこそコラボ」の2回目の開催

・2月7日に石川県は能登半島の七尾市で、民間のまちづくり会社く株式会社御祓川（みそぎがわ）を運営している森山奈美さんが鹿児島にお越しになる機会に合わせて、南九州市頴娃町石垣の塩や、で自主企画として地域おこし協力隊・支援員の卒業後を考える車座方式のセミナーを開催しました。当日は県下の協力隊の問題意識を中心に、他の地域ではどんなビジネスが成り立っているのかを森山さんとゆるやかに交流をしながら話を進め、参加者の考えの深掘りを行ないました。都会でもなく、鹿児島市内でもないこの頴娃の地で、日本でも有数の各分野での先駆者の話を聞き、繋がり、成長していける場をこれからも企画して行きたいと思っております。



2. 空き家再生フォーラム開催

・ 穎娃おこそ会主催の空き家再生フォーラムを鹿児島市の谷山にある妙行寺の協力を頂き開催致しました。社会課題とされる空き家ですが、見方を変えれば地域資源であり、この活用をどう進めるかは地域づくりの重要なテーマとも言えます。穎娃町の石垣商店街を中心にこれまで7軒の空き家再生を手掛けてきた穎娃おこそ会として、単なる改装事例の報告ではなく、家主との折衝や契約、その利活用など、改装の前と後をも含めた空き家再生の一連の取り組みについて話題提供させて頂きました。約30名の方々のご参加を頂き、参加者構成も行政、不動産、工務店、自治会などの関係者から、空き家再生やまちづくりに関心が高い一般の方々まで幅広い皆さまとの集いの場となり、参加者の皆さんとの双方向型での質疑応答や意見交換を行いました。地域で取り組む空き家再生への関心の高さを再認識するとともに、これからも県内各地で皆さまとも連携していければと感じました。



3. 自宅のトイレを大改造

・今月は自宅のトイレを DIY しました。もともと移住後にボタン便所から簡易水洗トイレに変えましたがそのあと手を付けてなかったので今回は棚を付けたり、トイレットペーパーホルダーの位置を変更し、内壁の塗装をしました。トイレが綺麗になると生活する上で気分も変わります。自宅を DIY できるのも古民家改修の醍醐味だったりします。このような DIY を今後も少しずつしていこうと思います。

